

セコムのCSRへの取り組み

□ CSRについての基本的考え方

セコムは、「企業と社会が共に持続的に発展することが重要である」との考え方を根底において、

「社業を通じ、社会に貢献する。」

「社会に貢献する事業を発掘、実現しつづける責任と使命を有する。」

「常に革新的でありつづける。」

という企業理念のもと、事業を通じたCSR(企業の社会的責任)を実践しています。

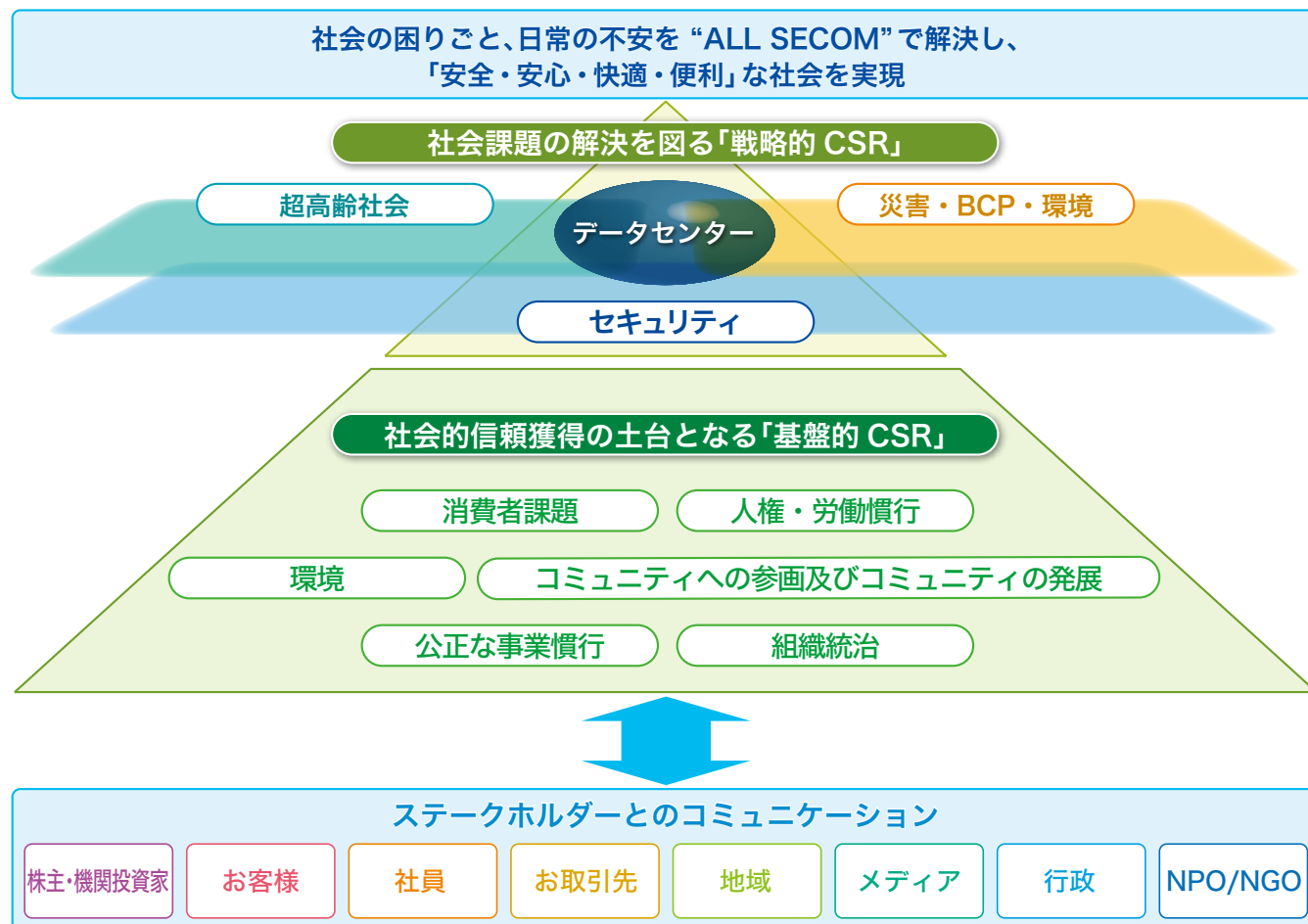
セコムではCSRを、「戦略的CSR」と「基盤的CSR」に整理し、実践しています。

□ 社会課題の解決を図る「戦略的CSR」

セコムの競争力の源泉である「技術力」「人材」「オペレーション体制」と、事業インフラの中核拠点である「データセンター」を基盤とするビッグデータを有効活用して、「セキュリティ」「超高齢社会」「災害・BCP・環境」の分野を切り口に、“ALL SECOM”でさまざまなサービス・商品を創出しています。

□ 社会的信頼獲得の土台となる「基盤的CSR」

セコムでは、社会に「安全・安心」を提供するという事業の特性上、我々の理念や行動が社会から評価され、信頼を得ることが事業継続の基盤となります。従って、コンプライアンスの徹底やビジネスリスクへの対処にあたっては、創業時から法令遵守等を超えるセコム独自の厳しい基準で取り組んでいます。



□ 基盤的CSRの主な取り組み

基盤的CSRへの取り組みを、社会的責任に関する国際規格であるISO 26000の中核主題に準じて整理すると、次の通りです。

1. 消費者課題

セコム独自の高品質なサービスを提供するため、セキュリティサービス事業においては、研究開発からメンテナンスまでのすべてのプロセスで高い安全性・信頼性を確保する仕組みを構築し、社員の知識と技能を高める人材育成に取り組んでいます。

また、お客様訪問やセコムお客様サービスセンターなどを通じ、お客様の声に常に耳を傾け、さらなるサービス品質の向上に努めています。



「セコムお客様サービスセンター」

2. 人権・労働慣行

社員が生き生きと仕事をし、自己実現していくことが組織の発展につながると考え、個性と能力を伸ばす人材育成を行い、人権尊重の社員教育と組織運営を行っています。

また、社員の安全衛生やワーク・ライフ・バランスの充実・向上に注力し、健康管理や休暇・休業の仕組みを充実させています。

3. 環境

セコムがめざす安全で快適な暮らしの基盤が地球環境の保全であるという認識のもと、全社員で「環境基本理念」、「環境基本方針」を共有し、地球温暖化防止や資源有効利用などの環境施策の推進と法令遵守等の強化に取り組んでいます。



セコムの低燃費車

4. コミュニティへの参画及び コミュニティの発展

「安全・安心」を社会へさらに広めることや、雇用の創出・地域社会の発展を通じて地域に貢献することも、セコムの使命です。

この認識のもと、子どもや女性、高齢者に対する防犯意識の啓発活動など、さまざまな社会貢献活動を行っています。



寸劇など動きを取り入れた防犯授業

5. 公正な事業慣行

サプライヤーの皆様との協力を深めて、相互理解と法令遵守のもとで、高品質なサービス・商品を提供する体制を構築しています。

また、人権保護や労働安全衛生、環境保全など、バリューチェーン全体でCSRの理解促進と対策強化を進めています。

6. 組織統治

持続的に企業価値を向上させるために、経営の効率性と透明性を高めるべく、独立社外取締役の設置など、コーポレート・ガバナンスの充実をはかり、経営陣主導のもと、コンプライアンス体制の強化と情報開示の徹底などに、積極的に取り組んでいます。